

消費者の「食」への信頼を向上させるために

フード・コミュニケーション・プロジェクト

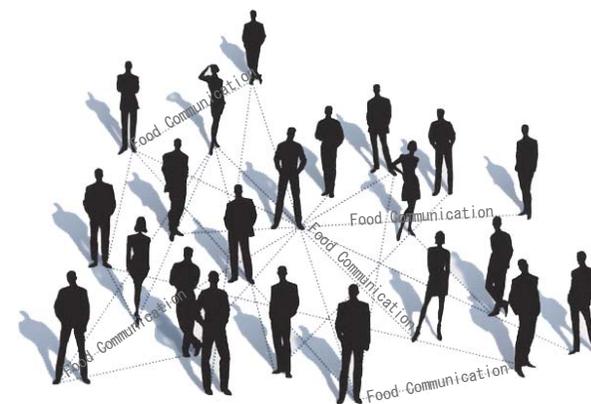
FCPは食品事業者の皆さんと作り上げるプロジェクトです。

規制などの行政の取組によるのではなく、食品事業者の創意工夫の発揮、経営発展を通じて消費者の「食」への信頼向上を図ります。

食品事業者による信頼向上のための取組が消費者に正しく伝わり、消費者の声が食品事業者の一層の取組の充実につながって、食品事業者への信頼が高まるという、好循環を実現することが目標です。

そのためには、意欲的な食品事業者の取組が適正に認められる仕組づくりが必要です。

関係者が「食」に関する生活満足度を高めるため、それぞれの実態にあったスタイルとともに協力して、歩みを進め続けることを目指します。



FCPの具体策

食品事業者に対する、消費者の信頼向上を図る

食品事業者が、自らの顧客ニーズを見極め、
 創意工夫を発揮してビジネスを展開することを通じて、
 「食」に対する消費者の信頼向上を目指します。
 そして食に携わる関係者がそれぞれの活動を展開することにより、
 意欲的な食品事業者へメリットが還元され、
 その取組が持続的に充実・強化される姿を理想とします。

信頼の礎である関係者間の理解を促すために
 食品事業者の「行動の見える化」を図ります。



関係者による「協働の着眼点」の共有によって
 「情報の好循環」を促します。



ポジティブフィードバックの仕組み
 事業者の取組の充実・強化と、
 消費者の生活満足度向上が連鎖的に発展

FCPの具体的な取組

「協働の着眼点」の策定

「協働の着眼点」とは

食に携わる関係者が消費者の信頼向上の観点から着目すべき食品事業者の行動のポイント。

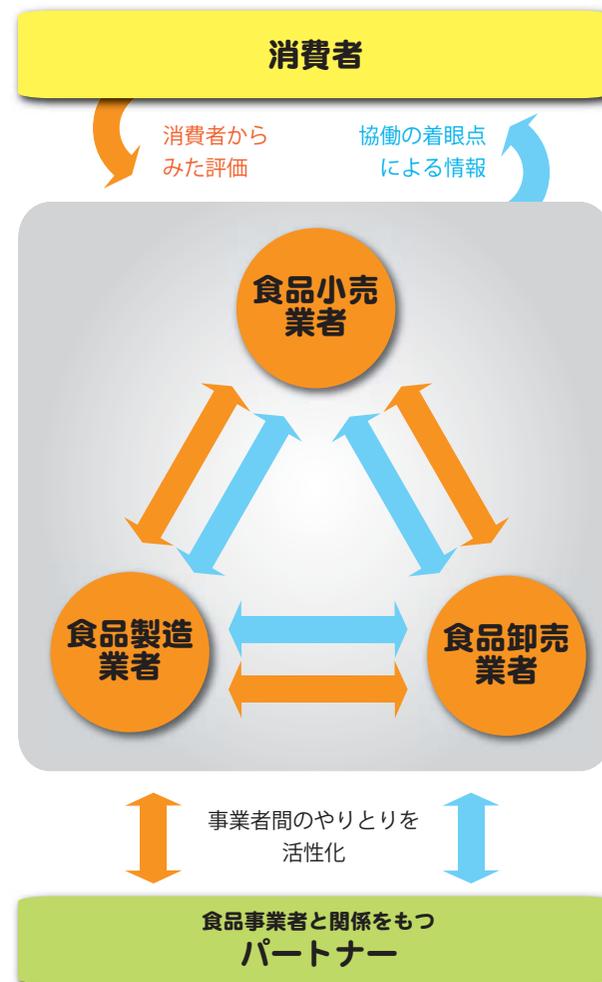
例えば、

- ①食品事業者が、自らの取組を充実・強化する際
- ②消費者が、商品の購買や投資により食品事業者を支援する際
- ③食品事業者と関係をもつパートナーが、商品購買や技術支援などで食品事業者を支援する際に活用されるよう「協働の着眼点」を策定します。

「協働の着眼点」のイメージ

- 1 消費者とのコンタクトに関する配慮…………… **消費者コミュニケーション**
- 2 調達・物流に関する配慮…………… **サプライチェーンマネジメント**
- 3 安全性に対する配慮…………… **衛生管理**

「協働の着眼点」による情報の流れ



購買、技術支援、融資、コンサルティング、プロモーションなどの多様な手法により「協働の着眼点」を活用

FCPの具体的な取組

「協働の着眼点」の活用方策を検討する **研究会** を設置

研究会のテーマ

- | | | |
|---|------------------|---|
| 1 | 企業行動の情報発信 | 食品事業者自らの行動の“見える化”、フードチェーンの“見える化”を進める取組を、いかに効果的に展開すれば良いか、戦略的なコミュニケーションのあり方について研究。 |
| 2 | アセスメント | 自社の取組の効果的な改善、ステークホルダーとの発展的な関係の構築につながるような多様な「アセスメントのあり方」や、アセスメントに必要な作業負担やコストを軽減する方策について研究。 |
| 3 | 地域活性化 | 地域の食品事業者が「協働の着眼点」を活用することにより、取組の“見える化”を推進し、購買、販路開拓の促進、地域ブランドのマネジメント力向上などを通して地域経済の活性化を促すことについて研究。 |

活性化

食品事業者の意欲的な取組

研究会の運営方針

研究会には、それぞれ中立の立場のファシリテーター（促進、触媒者）を置きます。
 そして、ネットワーク参加者のうち、事務局からの募集に応じて、自主的な参画を希望された食品事業者や、「協働の着眼点」の活用に関わる関係事業者等から構成されることを想定しています。

研究会運営の具体的なイメージ

- ①研究会のテーマ設定、参加者募集
- ②研究会の立ち上げ
 ファシリテーターの進行に則り、参加企業等が「協働の着眼点」の活用に関する新たなビジネスの創出等について意見交換。

 民間活動（特に新たなビジネス創出）活性化のための環境整備として、FCPの内容、推進手法に関して、平成21年度以降にパイロット事業に関する提案等を取りまとめ。

FCPのゴールイメージ

「協働の着眼点」を意識して活動する関係者の増加



消費者の信頼向上を図る食品事業者の取組が発展

この実現のために

「協働の着眼点」を持続的に改善、共有

「協働の着眼点」を活用した活動の促進



ラウンドテーブルで建設的な意見交換を実現



「協働の着眼点」を意識する関係者にメリットが還元される取組を実証

FCPは、多様なステークホルダー（食品事業者、関連事業者、消費者等民間の主体）と農水省とのコラボレーションで推進するものです。オープン性を重視し、FCPの考え方に賛同する皆様の自主的な参画をもって「協働の着眼点」を持続的に改善していきます。

FCPのスケジュール

